

令和7年度 第5回 日の出小学校学校地域連携運営協議会

日 時:令和8年2月27日(金)

11:05~12:10

場所:日の出小学校会議室

○協議

1 3学期の学校、児童の様子について

校長から

- ・学級閉鎖があった。給食時の机の向きなど、感染状況に応じた対応がコロナを経験して教職員にいきている。
- ・3年生が校外学習に電車でキツザニアに行った。
- ・書き初めを講師の先生に丁寧にご指導いただいた。
- ・幼稚園、保育園との交流を1年生と5年生が行った。また、幼稚園とは給食交流も行った。よい活動になった。
- ・地域との活動でお父さんの会で日の出南小学校と合同で豆まきパトロールを行った。
- ・2月16日(月)に、6年生と市長、教育長と給食を食べ、交流した。浦安市の良いところ等を発表し、良い時間になった。
- ・ゆりかごの会の読み聞かせを児童は楽しそうに聞いていた。
- ・部活動の地域展開の進捗状況

2 後期学校評価アンケートについて

教頭から

- ・後期は概ね維持、微増している。保護者の理解の様子が伺えた。
- ・タブレットについての項目は、昨年度一番低い評価だったが、今年度は一番の伸びだった。ICT通信の効果があった。
- ・「学校で楽しく過ごしているか」についてはアンケートの結果から安心して過ごせている様子が見られた。
- ・「自分の考えを伝える」の項目が他の項目よりも低いので、相手の考えを聞き、自分の思いを発信できる教育活動を続けていく。
- ・「地域との関わり」について課題があるので、引き続き情報の発信を続けながら、地域の人材を生かしていく。
- ・学習の項目については、横ばいまたは微減しているのが課題。授業内容、指導方法を引き続き改善していく。
- ・学校教職員への信頼が高い傾向にある。家庭と連携を深めていく。また、引き続き、児童の変化について組織で対応していく。

- ・授業、学習への意欲は高いが、アウトプットしていくことが課題。職員と共有し、課題に取り組んでいく。
- ・タブレットが特別な道具から日常使いの文房具になってきている。
- ・関わりあう「地域や浦安を大切にする子」の項目は、数値は低いですが、少しずつ上がってきている。教育活動で様々な人に関わってもらえている。引き続き、地域人材の活用をしていく。

3 自己評価結果に対する関係者評価に対する意見及び来年度に向けての改善方策について

校長から

- ・お父さんの会の活動は素敵な地域活動。宿泊行事や避難所運営も児童ももっと参加できたら。
- ・外遊びの具体的な活動としては長縄週間を行った。

教頭から

- ・「主体的な学び」については、基礎基本を押さえた上で、児童の知的好奇心を刺激する発展的な学習を行っていく。学びの振り返りから言語活動をしっかり指導することで、発信にもつなげる。
- ・「自他を尊重する心」については、言葉にして相手に伝えることを来年度も行っていく。
- ・「健やかな体」については、体育部を中心に外遊びの活性化につなげることができた。校内の安全点検については外部と一緒に活動できるとよい。
- ・「特別支援教育の充実」については、チームで取り組むことができた。個々で支援が必要な児童については、ケース会議や関係機関とも連携して行ってきた。引き続き行っていく。
- ・小中連携については、学習での連携をしていきたい。メディアセンターを使った他の学校との交流もしていきたい。

委員から

- ・外遊びの具体的な活動は。
- ・地域行事が三社祭等、大きいものだけだと思っているのでは。色々な大人に支えられていることが認識できれば。
- ・PTA としても活動の継続を続けていく。キッズビューで情報発信が手軽にできている。日の出の地域活動をキッズビューで発信できたら。
- ・地域の活動は、低学年くらいの子どもたちがもっと参加できるイベントが増えていけるとよい。
- ・活動を今風に変えていく必要がある。

4 令和8年度学校運営方針について

校長から

- ・「温かい学校」を学校経営の中核にしていきたい。
- ・日の出小学校にとって「温かい学校は何か」を考えながら取り組んでいきたい。
- ・来年度は「みんなでつくる 温かい学校」を目指す。
- ・一人一人を尊重したい。他人の人権を守ることは自分の人権を守ることにつながる。

委員から

- ・目指す教師像の人権感覚とはどのようなことか。